

■ 教育目的

血液の性状に加えて、各種の血液学的検査法の理論と実際の検査手技を理解するとともに、代表的な血液疾患の臨床に関する基礎的知識を習得する。

■ 学習到達目標

臨床血液学の基本を習得し、血液疾患の臨床における血液学的検査の病態的意義を理解できる。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：シラバスの授業内容に該当する教科書・参考書の記載に目を通しておく。

復習：授業プリントにもう一度目を通し、授業内で触れたキーワードを中心に発展的に自分で調べてみる。

■ 授業内容

血液学の基本に加えて、検体採取法、取扱い方法、定性および定量検査、形態学的検査などの基本的事項や代表的な血液疾患の臨床に関する基礎について講義する。

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	血液の基礎	血液と血液学的検査、血液の成分・性状・機能	
2	血球の分化	血球の産生と崩壊、分子マーカー	
3	血液学的検査の自動化	CBC 検査の自動化、血液凝固検査の自動化	
4～6	赤血球	赤血球の形態と機能、赤血球に関する臨床検査 赤血球系の異常と代表的な血液疾患（1） 赤血球系の異常と代表的な血液疾患（2）	
7,8	白血球	白血球の形態と機能、白血球に関する臨床検査 白血球系の異常と代表的な血液疾患	
9,10	造血器腫瘍	造血器腫瘍に関する臨床検査 代表的な造血器腫瘍	
11,12	血小板	血小板の形態と機能、血小板に関する臨床検査 血小板系の異常と代表的な血液疾患	
13,14	血液凝固	血液凝固の機序、血液凝固に関する臨床検査 血液凝固の異常と代表的な血液疾患	
15	症例検討	臨床検査データにもとづく症例の解析	

■ 授業分担者

庄司 優（No.1～3）、田中 靖子（No.4～6）野澤 玲子（No.7～15）

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

期末試験（90%）および出席状況・授業態度（10%）で総合評価を行う。

■ 教科書

『血液検査学（標準臨床検査学）』 矢富 裕 監修（医学書院）

必要に応じてプリントを配布

■ 参考書

『病気がみえる vol.5 血液』 医療情報科学研究所 メディックメディア）

『血液細胞ノート—形態速習アトラス』 巽 典之 編（文光堂）

『改訂新版 臨床検査 基準値ノート』 河合 忠・庄司 優 編（薬事日報社）